

ルームご利用規約

※必ずお読みください。

ルーム利用者（以下「ユーザー」といいます。）はルーム・施設・建造物・部屋等（以下「ルーム」といいます。）及び設備・備品・オプション等（以下「設備」といいます。）を利用する場合、善管注意義務の下に責任を持って取り扱ってください。

ユーザーは、帰属するルーム及び設備を破損・汚損または紛失する等、その損害が発生した場合には、損害額を賠償していただきます。その際の見積・施工はルームオーナーにて行います。

また、上記が原因でルーム（施設・建造物・部屋等）が利用出来なくなった場合は、損害金額をご負担いただきます。この場合、修理金額および損害金額の実費を含む請求金額全額を請求に基づく支払日にお支払いいただくこととなります。この処置につき、利用者は一切の異議を述べないものとし、且つルームオーナーに対し、金銭の支払いその他いかなる請求も行わないものとします。

ルーム・設備利用に伴う人身事故および部外品・展示品等の盗難・破損事故などのすべての事故について、一切の責任を負いません。

利用契約時間以外は、ルームオーナーの承諾無しに無断でルーム内に立ち入ることはできません。

ルームオーナーの承諾無く、ご利用時間の勝手な延長は出来ません。

ご利用最終日に退出されず、持込まれた荷物や商品等が撤去されない場合は、荷物や商品等を移動、ルーム外に搬出、処理、場合によっては廃棄させていただく場合があります。

建物内に機材、器具搬入の際は、床・壁等を必ず養生してください。

契約した利用時間途中で退出された場合でも、ご利用料金の割引、返金等はいりませんのでご了承ください。

退出に遅延が発生した場合は、ルームオーナーが指定する金額を原状復帰に要した日数分も含め、遅延損害金として請求致します。

運搬・清掃が必要な場合やルームオーナーが必要と判断した場合に掛かる費用は、別途実費で請求させていただきます。

ルームオーナーの過失による損害補償は、ユーザーのお支払い料金を上限とする金額での補償になりますので予めご了承ください。

鍵のあるルームの場合は、利用終了時に、各ルームのルームオーナーの指定の通り鍵の返還を行ってください。

予約したルームはユーザー本人の責任のもとで利用可能です。ルームオーナーの許可なく第三者への譲渡はできません。

いずれのルームのご利用につきましても、ユーザーに借家権その他の独立した占有権、営業権等の固有の権利を付与するものではなく、また何らこれらの権利は発生いたしません。

利用者は自ら持ち込んだ機材・物品等の管理を行い、これらの盗難・紛失・火災損害等についてルームオーナーに責任を負いません。

第1条 免責

ユーザーは各項に起因した一切の損害について、ルームオーナーが賠償責任を負わないことに同意したものとします。

1. ルーム内および当該建物で発生した不正利用、器物損壊・汚損、無断キャンセル、盗難、事故、故障、火災、天災、雨漏りその他トラブルによる一切の損害について
2. 予約及び予約キャンセル、日程内容変更について起きた一切の損害について
3. ルームを当日利用できなかった場合、および当日途中まで、又は、途中から利用できなくなった場合の、営業保証、交通費、人件費など一切の損害について
4. ユーザーがルームの利用によって、ルームオーナーや他の利用者又は第三者に対して与えた損害及び自損事故について
5. ユーザーが、利用規約および注意事項等に違反した際に発生した一切の損害について

第2条 利用目的の制限

ユーザー又は主催者もしくはご出席予定者が以下に該当する場合には、お申込みに応じられませんので予めご了承ください。

1. 暴力団、暴力団関係企業・団体、総会屋、過激行動団体、その他反社会勢力若しくはこれらに準じる者（以下「暴力団等」と称します）又は暴力団等の関係者である場合

- 2.暴力団等又は暴力団等の関係者が事業活動を支配する法人その他の団体である場合
- 3.役員（取締役、執行役又はこれらに準じる方を言います。）、従業員、関係者等が暴力団等の構成員又はその関係者である場合
- 4.ルームオーナー及び関係者、お客さまに著しい迷惑を及ぼす行動、言動をした場合
- 5.ルームオーナー及び関係者、お客さまに対して暴力、脅迫、恐喝、威圧的要求を行い又は合理的範囲を超える負担を要求した場合 あるいは過去に同様の行為を行ったと認められる場合

第3条 利用の中止

予約が成立した後および利用途中であっても、下記事項に該当する場合ご利用を中止させていただきます。

その際に生じた損害責任は、ユーザーにご負担いただきますので、予めご了承ください。

- 1.申込時の使用目的と使用方法が事実と反した場合
- 2.他の利用者及び関係者、お客さまに対して迷惑を及ぼした場合
- 3.ユーザーがルームオーナーの許可なく第三者に転貸した場合
- 4.ルームオーナーが風紀上または安全管理上、不相当と認めた場合
- 5.常識の範囲を超えた備品の持込または、使用された場合
- 6.関係諸官庁から中止命令が出された場合
- 7.禁止および注意事項、また、ルームオーナーの注意に従わない場合
- 8.暴力団関係者、その他反社会的団体に属する者が利用しようとしていると認められる場合
- 9.その他、ルームオーナーが社会一般通念上不適切な使用方法と判断した場合

第4条 禁止行為

- 1.法令に反するまたは反する恐れのある行為および法令で販売が禁止されている商品の販売
- 2.公序良俗に反する低俗な行為およびわいせつ物や違法な商品の販売
- 3.危険物、騒音や振動を生じる物、動物やペット、及び常識を超えた備品の持ち込み及び販売
- 4.申込時の使用目的と異なる行為を行うこと
- 5.他人の権利・利益を侵害する可能性のある物の販売
- 6.ルーム及び他ルームの入居者や他の利用者に迷惑を及ぼす恐れがある言動・行為・騒音等
- 7.ルームオーナーの承諾無く、床・壁・天井・付属設備・備品等へ釘類を打ち付けたり、改築、改造、模様替え、粘着テープ類の貼り付け、鋸止め、その他現状を変更する行為
- 8.ルームオーナーに不利益を与える行為
- 10.ルームに宿泊する行為
- 11.収容人数を越えて入室させること
- 12.ルームオーナーの許可を得ないで行う飲食行為
- 13.その他法律で禁じられている行為

第5条 キャンセルについて

予約成立後、キャンセルされる場合は、ルームオーナーにご連絡ください。
キャンセル料の対象となるキャンセルは予約確定後に以下の事由が発生した場合を意味します。

- 1.日時、ルームの変更を希望される場合
- 2.お申込を取り消される場合

第6条 キャンセル料の支払いについて

キャンセルされた場合は別途定めたキャンセルポリシーに準ずるキャンセル料をお支払い願います。

第6条 その他

ルームオーナーが必要と認めた場合、本利用規約を変更できるものとし、ユーザー（予約完了した場合も含む）は変更後の利用規約についても遵守しなければなりません。

以上